伊達崎小学校５年生による学習発表会

こうよ！美しい伊達崎へ

伊達崎小学校5年生による総合的な学習の時間の成果発表会が12月2日、レガーレこおりで行われました。児童らは、野菜づくりをはじめ、ピザづくり体験、田植え、稲刈り体験、ぶどうの収穫体験などを通して、地元の魅力やすばらしさを再発見し、もっと多くの人に伊達崎のことを知ってもらいたいという思いが芽生えたことを発表。ふるさとの良さを形にするため、町振興公社協力のもと、米とシャインマスカットのジェラートを開発しました。児童らは、「町の産業を支える人々に感謝しながら、今後もふるさとの魅力を探り、発信していきたい」と意気込みました。

1・2_関係者らが出席する中、成果発表を行う児童のみなさん　3・4・5・6_試作した「DANZAKIマスカットジェラート」の試食会。試食後、成果発表の内容やジェラートの感想などを参加者にインタビュー

半田銀山新そばまつり

の味覚を堪能

町振興公社と半田銀山そばの会協議会、割烹仙台屋共催による「半田銀山新そばまつり」が11月23日、レガーレこおりで開かれ、約350人が秋の味覚を堪能しました。刈りたての玄そばから完全手打ちの「もりそば」に仕上げられた半田銀山新そばを堪能しようと、限定200食の前売りチケットは完売。天ぷらの盛り合わせをお供に、みずみずしいのどごしを楽しみました。また、伊達崎マルシェも同時開催され、地元の新鮮野菜や地元グルメ、ワークショップなどが出店。桑折ならではの賑わいの中、来場者はおいしさと楽しさを満喫しました。

▲桑折ならではの秋の魅力を満喫しようと多くの人で賑わう会場

広　告

広　告

伊達果実農業協同組合がバナナ贈呈

ナナで元気！寒い冬を乗り切ろう

伊達果実農業協同組合は11月27日、醸芳幼稚園や各小中学校へバナナを贈呈しました。この取り組みは、栄養価の高いバナナを子どもたちにおいしく食べてもらい、寒い冬も健康で元気に遊び、勉強に励んでほしいという思いから、毎年行われています。今年は、インフルエンザ予防のため、醸芳幼稚園での贈呈式は行われませんでしたが、園に届いたバナナを先生たちが園児らに手渡すと、嬉しそうに受け取る姿がありました。園児らはお礼に、手作りの飾り物を制作し、伊達果実農業協同組合に届けられました。

▲新鮮バナナを嬉しそうに受けとる園児のみなさん

開設10周年記念イベント「輪楽創祭り」

域とともに歩んだ10年を祝って

NPO法人桑折町共に生きる社会を創る会が運営する就労支援事業所「輪楽創（わらっく）」が設立10周年を迎えたことを記念し、同法人と「手をつなぐ親の会」共催によるイベント「輪楽創祭り」が11月22日、桑折公民館で開かれました。当日は、歌手の本田和美さんが昔懐かしい曲を披露し、利用者も一緒に歌ったり踊ったりして会場を盛り上げました。また、事業所で栽培した農産物や織物の販売のほか、十割そばなども提供。昨年6月の記念誌発行にはじまり、7月の祝賀会、そして地域のみなさんに楽しんでもらうべく開いた当イベントをもって、記念行事を締めくくりました。

▲歌手の本田和美さんと一緒に昔懐かしい曲を歌う利用者のみなさん

桑折ライオンズクラブ結成50周年記念事業

に地域を支える団体を応援

桑折ライオンズクラブは、今年結成50周年を迎えました。それを記念し、醸芳中学校に「ライオンズ文庫」図書購入費として50,000円、町社会福祉協議会（こども食堂）に米30キロを5袋、NPO法人桑折町共に生きる社会を創る会「輪楽創」にテレビ、町商店会連合会にガーデンテーブル10脚、もんも児童発達支援・放課後等デイサービスに遊具を贈呈しました。醸芳中学校では11月27日、贈呈式が行われ、本間澄雄会長から稲村茜な図書委員長に目録が手渡されました。稲村委員長は「みんなが好きな本を充実させ、楽しく図書室を利用できるようにしていきたい」と話しました。

▲（左から）藤倉実事業委員長、水口盛会計、稲村図書委員長、本間会長、和泉守昭幹事

町社会福祉協議会（こども食堂）へ贈呈

輪楽創へ贈呈

町商店会連合会へ贈呈

もんも児童発達支援・放課後等デイサービスへ贈呈